

平成 30 年度社会福祉法人静香会事業報告

○ 法人本部

1. 外部・内部の課題に対する取組み結果

改正社会福祉法が施行されてから 2 年が経過しました。新制度に基づき経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、また地域における公益的な取組みについて推進してきましたが、2 年目となる 30 年度は、それらの取組み内容が適切かどうか、誤りはないか、また有効に機能しているかどうか等の確認と修正を行い、現時点で特に問題点はありません。今後も継続して適正な運用に努めます。

また、全施設で年次有給休暇の取得や定時退社がようやく定着し、職員からたいへん喜ばれています。定年の 65 歳への延長や福利厚生の実充等、「働き方改革」を見据えて専門家の意見を取り入れ、より働きやすい職場環境づくりに努めました。職員にも評判が良く、また求人の際の大きなアピールポイントとなり職員採用に繋がりました。

リーダー層の育成については、法人全体での役職別の会議や、施設長・園長との連携の強化によりリーダー職員に意識の変化が見られ、各施設で積極的に職員の指導・育成に関わるようになりました。31 年度も継続していきたいと考えています。

2. 30 年度目標に対する取組み

(1) 利用者に関すること

①利用者・園児の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安全・安心なサービスを提供する。

②常に利用者・園児の立場に立って良質かつ適切な福祉サービスを提供すべくサービスの質の向上に向けた体制を構築する。

・利用者の意見や意思を確認していくため個別面談や聞き取りを強化し、個別支援計画等に反映させた。また、保護者等との連携を密にし、利用者・園児へのより良い支援・保育のための情報を得た。それらの情報は会議等で共有し、利用者・園児一人ひとりの目標達成に向け担当職員全員で取り組むためのシステムを各施設で強化した。

(2) 人材に関すること

①福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働き甲斐のある職場作りに取り組む。

②体系的な研修プログラムを構築するとともに、職員一人ひとりの成長のための支援に取り組む。

③リーダー層の育成に取り組む。

・昨年度に引き続き、職員間の協力、残業の事前許可制、自己の労働時間管理等の「静香会残業ルール」を継続し、不必要な時間外勤務削減

に取組んだ。

- ・年次有給休暇を全職員が5日以上計画的に取得するため、昨年度より継続して家族休暇、リフレッシュ休暇、域活動休暇等、様々な冠休暇を推進し、取得しやすい雰囲気を作った。しかし、職員数の不足のため取得率が下がった施設もあった。
- ・人事評価制度の内容について全職員に説明を重ねるとともに、職員一人ひとりの個人目標達成に向けての助言や指導に努めた。
- ・静香会職員育成教育計画を作成し、外部研修に積極的に参加するとともに、法人内・施設内研修を充実させ、職員の資質向上に努めた。
- ・課長主任会議、副主任会議を毎月開催し、役職に求められる職責内容、所属施設内におけるそれぞれの役割や具体的な行動を確認しながら、職務遂行能力を高めるための研修を行った。

【時間外勤務実績時間数】(30.4.1～31.3.31)

施設名	職員数 管理職除く	30年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠雲寮	30	215.5	17.9	0.6	宿泊外出多い 感染症対応
グループホーム	4	38.5	3.2	0.8	旅行付多い
ゆううん	4	61.5	5.1	1.3	虐待ケース対応 計画相談
ほほえみ& みのり工房	15	12.0	1.0	0.06	利用者対応 納品遅れ
このはな保育園	21	140.0	11.7	0.56	土曜勤務 8.5時間
本部	2	55.0	4.58	2.29	事務職員の退職

【有給休暇取得率】

施設名	28年度	29年度	30年度
悠雲寮	54%	64%	66.14%
グループホーム	76%	94%	84.38%
ゆううん	29%	79%	80.41%
ほほえみ& みのり工房	54%	83%	67.4%
このはな保育園	82%	93%	69.4%
本部	54%	91%	74.54%

【研修】

外部研修・・・118 講座、延べ参加人数 163 名

県健康福祉部・県社協研修、就労支援研修、経営セミナー、
相談支援従事者研修、保育園連盟・保育協会・保育士会研修
保育士キャリアアップ研修、他施設・事業所見学等

法人内・施設内研修・・・52 件

外部研修報告、防災対策、感染症、虐待、AED、
コンプライアンス、セカンドライフプラン作成セミナー等

(3) 地域に関すること

- ①地域における公益的な取り組みを推進し、それらが地域の援助ニーズとマッチしているかを確認していく。
- ②法人の広報機能を強化し、地域からの信頼を得るための情報発信を行う。
 - ・長泉町自立支援協議会に積極的に関わることで、地域の福祉ニーズの状況確認や掘り起こしを行い、静香会としての公益的な取り組みに繋がった。
 - ・広報誌「ゆううん」、ホームページ、フェイスブックで常に最新の情報を発信した。また、長泉町自立支援協議会及び保育園各関係会議等の場で静香会の取り組み内容を発表した。

【地域における公益的な取組】

①地域の要支援者に対する相談支援	13 件
②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援	0 件
③地域の要支援者に対する権利擁護支援	3 件
④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供	1 件
⑤既存事業の利用料の減額・免除	0 件
⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動	0 件
⑦地域住人に対する福祉教育	1 件
⑧地域の関係者とのネットワークづくり	53 件
⑨その他	12 件
	<hr/>
計	80 件

(4) 経営管理に関すること

- ①法人経営及び事業経営が良好に進展するよう法人本部を中心とした業務執行機能を強化する。
- ②法人全体及び各施設、事業ごとの経営状況を適切に把握し、適正な収益性の確保に向け計画的かつ効率的な事業運営を行う。
- ③ISO のさらなる理解と浸透に取り組み、PDCA サイクルにより業務の継続的な改善を図る。

- ・管理職会議や経営会議等、管理職による会議を充実させるとともに常に情報を共有し、法人本部を中心とした執行体制の機能を強化した。
- ・法人及び各事業の経営状況について、毎月公認会計士より確認をしていただき専門的なアドバイスを受けた。また、毎月の経営会議において、各施設、事業ごとの経営状況を把握するとともに、法人の財政状況の確認を行った。
- ・法人・各施設で毎月マネジメントレビューを実施し、日々の業務の中でISOシステムにより業務が継続的に改善していることを確認した。

3. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 平成30年5月29日(火) 10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 平成29年度社会福祉法人静香会事業報告
- 第2号議案 平成29年度社会福祉法人静香会決算報告及び監事監査報告
- 第3号議案 定時評議員会の招集

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項の報告
- 第2号報告 理事長職務執行状況の報告
- 第3号報告 社会福祉法人静香会福祉充実残額
- 第4号報告 評議員の任期の訂正

② 平成30年11月21日(水) 10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 ほほえみ&みのり工房新規事業
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人静香会各会計補正予算
- 第3号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正
- 第4号議案 社会福祉法人静香会人事評価規程の一部改正
- 第5号議案 悠雲寮浴室改修工事入札指名業者の選定基準
- 第6号議案 悠雲寮浴室改修工事入札参加者の選定
- 第7号議案 悠雲寮浴室改修工事入札立会い者の選任
- 第8号議案 平成29年度決算書の付属明細書一部差し替え
- 第9号議案 評議員会の書面による決議

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項報告
- 第2号報告 理事長職務執行状況の報告

③ 平成30年12月14日(金)

書面による決議

- 第1号議案 悠雲寮浴室改修工事の契約締結

④ 平成31年3月26日(火) 10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人静香会各会計補正予算
- 第2号議案 平成31年度社会福祉法人静香会事業計画
- 第3号議案 平成31年度社会福祉法人静香会各会計収支予算
- 第4号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正
- 第5号議案 県による指導監査結果について

報告事項

- 第1号報告 理事長専決事項報告
- 第2号報告 理事長職務執行状況の報告

(2) 評議員会の開催

- ① 平成30年6月13日(水)10時 悠雲寮2階会議室

審議事項

- 第1号議案 平成29年度社会福祉法人静香会事業報告
- 第2号議案 平成29年度社会福祉法人静香会決算報告
及び監事監査報告
- 第3号議案 社会福祉法人静香会福祉充実残額

- ② 平成30年11月30日(金)

書面による決議

- 第1号議案 平成29年度社会福祉法人静香会決算書の
付属明細書一部差し替え

(3) 監事監査

- ① 中間会計監査

平成30年11月21日(水) 悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事

- ② 平成30年度事業及び収支決算監査

令和1年5月24日(金) 悠雲寮応接室
森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

平成30年6/13、12/20 計2回
悠雲寮応接室

(5) 県による実地指導監査

- ① 平成30年10月30日 このはな保育園
- ② 平成30年11月22日 悠雲寮
- ③ 平成31年1月10日 悠雲の家

(6) ISO 9001

① 内部監査

悠雲寮・平成30年8/20、8/22、9/13、11/26、
11/29、12/14、

平成31年1/22、3/14、

計10回

ほほえみ&みのり工房・平成30年9/4、31年2/13 計2回

このはな保育園・平成30年7/26、31年1/10 計2回

② 外部監査

平成30年5月21・22日（定期監査）

平成30年12月17日・18日（定期監査）

9時～17時 悠雲寮2階会議室・このはな事務所

監査機関：ビジネス・アシュアランス・ジャパン(株) 塩谷健吾監査員

(7) 職員の健康管理

- ① インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。(11月、12月)
- ② インフルエンザ予防薬としてタミフルを処方した。
- ③ ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。(10月)
- ④ 定期健康診断を実施した。(夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回)

【定期健康診断検査結果】

総合判定	区分	29年度	30年度	内容
A	異常なし	5	2	
B	軽度異常 問題ナシ	17	20	
C	要経過観察	32	29	体重（肥満・痩せ過ぎ）腰椎変形 食事（尿酸値・高脂血症・肝機能）
D	要治療 要精密検査	21	9	脂質異常・高血圧・尿潜血・腰椎変形 貧血・視力低下
E	治療中	9	11	高血圧・糖尿病・高脂血症
計		84名	71名	

(8) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内容	実施計画	実施日	延べ回数
①管理職会議	月1回	4/25、5/24、6/22、7/24、9/6、10/23、11/26 12/20、1/23、2/22、3/27	11回

②経営会議	月1回	5/30、6/28、7/27、9/20、11/29、1/22、3/6	7回
③全体職員会議	4・7・10・1	4/3、7/3、10/2、1/8	4回
④課長・主任会議	月1回	5/15、6/12、7/17、9/12、10/17、11/13、12/11 1/15	8回
⑤副主任会議	月1回	5/16、6/14、7/19、9/13、10/18、12/12、1/16	7回
④施設巡回	隔月	5/25、6/1、7/25、7/31、9/26、10/9、1/17、1/18 3/28	9回
⑤業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、 職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、 不審者情報等	随時

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ 回数
①行政機関との話し合い	随時	4/3、4/9、4/11、8/3、3/5	5回
②公認会計士による指導・相談	月1回	4/17、5/17、6/18、7/20、8/23、9/13、10/22、 11/19、12/17、1/22、2/28、3/19	12回
③社会保険労務士による指導・相談	月1回	4/9、5/10、6/5、7/12、8/9、9/13、10/11、11/1、 12/13、1/10、1/13、3/14	12回

(9) 広報誌「悠雲」

4月、7月、10月、1月 計4回、毎回850部発行
HPに掲載

(10) ホームページ・ブログ等の更新

- ① ホームページ・・・4/1、7/1、10/1、1/1 計4回更新
更新内容：理事長挨拶、事業報告・決算報告等情報公開
苦情対応・報告、広報誌「悠雲」、フェイスブックへのリンク
商品案内等
- ② ブログ・・・悠雲寮 毎日更新
ほほえみ&みのり工房 週2回更新
このはな保育園 月2～3回更新
- ③ フェイスブック・・・月1回更新

(11) 静香会行事

- ① 春まつり 平成 30 年 4 月 18 日 (水)
- ② かき氷大会 平成 30 年 7 月 18 日 (水)

4. 職員の採用及び退職 (平成 30. 4. 1～平成 31. 3. 31)

施設名	採用		退職	
	正規	パート	正規	パート
悠雲寮	0	7	3	3
ゆううん	0	1	1	1
悠雲の家 アネックス悠雲の家	0	1	0	0
ほほえみ&みのり工房	0	2	0	0
このはな保育園	2	1	4	3
法人本部	0	0	0	0
合計	2	12	8	7
	14		15	

職員人数

施設名	30年4月1日	31年4月1日
悠雲寮	31	35
ゆううん	4	3
悠雲の家・アネックス悠雲の家	2	2
ほほえみ&みのり工房	15	17
このはな保育園	23	24
法人本部	5	5
合計	80	86

5. 静香会創立30周年記念行事

(1) 平成30年10月16日(火)

① 静香会創立30周年記念式典 悠雲寮食堂

内容：式典、浅倉博幸先生講演、30年のあゆみスライド上映

出席者：来賓20名、利用者37名、保護者、54名、職員39名 計150名

② お祝い膳・お祝い菓子

悠雲寮・・食堂にて利用者、保護者、職員で昼食

ほほえみ&みのり工房・・食堂にて利用者、保護者、職員で昼食

③ このはな保育園静香会30周年記念行事

内容：ペープサートによる静香会の話

お楽しみ会食(バイキング形式)・お祝い菓子

(2) 平成30年10月20日(土)

静香会創立30周年記念講演会 このはな保育園2階遊戯室

内容：原坂一郎先生講演、このはな保育園のあゆみ(スライド上映)

(3) 記念食事会

① 平成30年10月29日(月)、31日(水)

場所：焼津グランドホテル

参加者：利用者105名、保護者43名、職員60名 計208名

(4) 30周年記念品

記念誌「30年のあゆみ」400部

記念スライド「30年のあゆみ」40枚

記念焼き菓子207箱、巾着袋100個(ほほえみ&みのり工房)

○悠雲寮（障害者支援施設）

1. 目標に対する取り組み・・・目標：（1）（2）（3）（4）

（1）サービスの質の向上

①入所利用者の高齢化・重度化に伴い、特別支援学校を卒業した比較的若い利用者が多い通所利用者との日中支援に差が出てきたため、入所・通所の活動を分けた。通所・入所それぞれで年齢・障害に応じた体力作りとして、歩行訓練、グラウンドでの運動、室内ゲームなどを実施した。

12月～3月末までの風呂の改修では、男女棟にユニットバスを設置し、利用者の生活に支障がないようにした。

②週案

	月	火	水	木	金	土	日
A M	体力活動	体力活動	体力活動	全体活動 ・レク ・外出 ・宿泊外出 ・誕生会 ・喫茶	体力活動	【生活介護日】 AM：各棟 ※通所は半日 PM：余暇支援 【施設入所日】 ・入浴	施設入所 (清拭)
P M	・各棟活動 ・入浴	・各棟活動 ・入浴	・各棟活動 ・入浴	清拭	・各棟活動 ・入浴		

通所・・・午前→体力活動 午後→カレンダー制作、創作活動、ゲームなど。

③各利用者の意思決定を尊重し、ニーズの把握を支援につなげた。

- ・利用者満足度アンケート、自治会活動について
毎年行っている満足度アンケート、2ヶ月に1回行われている自治会、個別支援会議での話などを基に、外出先、食事関係、喫茶のメニュー、利用者関係の調整など利用者の意思を尊重して支援を行った。
- ・個別支援計画の作成・・・年3回作成。
- ・保護者への定期連絡を継続実施。
保護者の高齢化により帰省期間や帰省の機会が減り、また、寮に来られる機会も減った為、日常生活や健康状態を保護者に伝えた。
電話連絡の取れない保護者等に対しては、文書にて利用者の様子を郵送した

④環境整備

- ・利用者行動の振り返り等にマネジメントカメラの活用ができた。
- ・清掃を行う職員を設け、利用者の住環境を整えた。

（2）人材育成

①マニュアル、手順書を現場で使用できるようにわかり易くした。29年度分の一部の手順書の見直しが終わらない分も、30年度に実施した。

- ②研修・・・研修計画により外部研修を受講し、現場へのフィードバックについてマネジメントレビューで確認した。
- ③内部研修の充実・・・日々の出来事、調整会議やマネジメントレビューで出た伝達事項、課題など職員 1 人 1 人に副主任・主任が伝えた。
- ④県内の障害者施設・高齢者施設 7 箇所延べ 27 名の職員が見学に行き、支援方法や施設設備等、今後の参考となる研修となった。

(3) 地域の福祉ニーズへの対応

- ・可能な限り実習生や体験利用者は受け入れた。
- ・西日本豪雨による災害派遣として、静岡 DCAT 登録者 1 名を派遣した。その後の報告会や、災害派遣の研修会などにも出席した。

(4) 安定した経営をめざす

- ・感染症対策は万全に行っていたが、外部からの感染により 2 月から 3 月（終息は 4 月）にインフルエンザ A 型の発症があったが、通所の閉所はなかった。
- ・法人の方針でもある効率的な業務を心掛けたことにより、定時での勤務終了の習慣がついた。悠雲寮全体の時間外の月平均は約 18 時間だったが、希望宿泊付き添いなどが主な理由になっている。
- ・利用者は定員 60 名に対し日々平均 65 名程度。

2. 目標に対する具体的事業内容

(1) 利用の状況

①定員 60 名。

男性 30 名、女性 22 名、通所 17 名、合計 69 名（2019 年 3 月末日）
 契約終了（通所）・・・6 月男性 1 名（特別養護老人ホームへ）
 契約終了（通所）・・・8 月男性 1 名（ほほえみ&みのり工房へ）
 移行（通所）・・・1 月女性 1 名（悠雲寮入所）

②年齢

	全体	男性棟	女性棟	通所
平均年齢	46	47.7	52.9	38.4
最高年齢	74	66	74	58
最低年齢	21	21	29	24

(2019 年 3 月末日)

③障害支援区分（2019 年 3 月末）

平均 5.63 （ 男性：5.9 女性：5.3 通所：5.8 ）

(2) 支援について

①個別支援

利用者や家族の要望等を取り入れながら個別支援計画を作成し、個々に

具体的な対応を図り 4 ヶ月に 1 度の見直しを実施。

②外出を含む年間行事

行事	実施日	会場	備考
南一色区民祭	9月30日	宮脇公園	南一色運動会 雨天中止
長泉町四ツ溝柿 ロードレース	11月11日	長泉北小周辺	利用者8名参加
昭和の遊びイベント	11月11日	ウェルピア	ライオンズクラブ主催 利用者8名参加
わかふじスポーツ大会	9月1日	草薙総合運動場	フライングディスク 15名
MY コミュニケーションズ チャリティー餅つき大会	11月12日	オートバックス 三島店	利用者14名
30周年記念式典	10月16日	悠雲寮食堂	法人主催 悠雲寮保護者50名
30周年記念食事会	10月29日	焼津グランド ホテル	利用者・職員 保護者36名
希望外出 (希望宿泊) (個別外出)	年56回		入所利用者対象で宿泊外出・個別外出・ を実施 (TDL 温泉) (個々の利用者に合わせた場所の選択) 男・女・通所遠足 (箱根、富士市方面、スカイウォーク、)
イベント外出		地域のお祭りなど	他施設の祭り含む
全館消毒に伴う外出	6月4日	ホテルサンバレー 一富士見	全館消毒のため、通所は休み、入所は全 員外出
月行事	毎月	寮内	花火大会やハロウィンなど季節に合わせ た行事を毎月実施

3. 地域交流

- ・長泉町総合防災訓練→8/26 南一色区の訓練に参加 (利用者5名、職員1名)
- ・地域で行なわれるイベントにも出かけ、地域とのつながりを大切にした。

(1) 体験学習・奉仕作業等の受け入れ

学校名	受入日	備考
不二聖心女子学院	6/29 12/14	16名 (2回)
新規採用教職員研修	12/13	長泉町教職員5名
サマーボランティア	8/6～8/9	高校生1名

(2) 福祉系高校、専門学校、短大、大学等実習生等受け入れ

学校名	期間	回数	実人数	延べ人数	備考
知徳高校	6月～11月	5	15	109	通い
浜松学院短期大学	7月	1	3	51	宿泊
東海短期大学	11月	1	3	36	宿泊(介護等体験含む)
沼津情報ビジネス	10月	1	1	10	通い
小田原短大	8月	1	2	24	宿泊
計		9	24	230	

(3) ボランティア

業務内容	年間回数	延べ人数	備考
理容	10	38	沼津市内理容師有志
美容	6	16	ヘアークット カズオ
楽しい仲間5サークル	1	6	桜を楽しむ会(法人行事)
計	29	87	

4. 防災・防犯関係、虐待防止・差別解消に対する取組み

①DCAT 関係

7/27～8/2 岡山県真備町菌小学校派遣

9/13 東部6施設連絡会(高齢者) 派遣報告

10/28 函南町福祉避難所設置訓練参加

12/19 DCAT 登録員フォローアップ研修 打ち合わせ

2/13 DCAT 登録員フォローアップ研修

2/26 東部成人福祉施設長連絡会 派遣報告

②防災関係・・・防災訓練(月1回) 新任職員に対する機器の説明(随時)

③虐待防止・差別解消に対する取組み・・・調整会議にて外部情報の伝達
新任職員に対する研修の実施(随時)

5. 内部・外部コミュニケーション

①調整会議・マネジメントレビュー(月1回)

②男女通所会議・ケース会議(14回)

③個別支援会議・モニタリング(年3回)

④給食会議(月1回)・健康給食会議(年2回)

⑤県実地指導(11/22)・集団指導(12/7)

⑥日々の引継ぎ

⑦保護者への定期連絡(月1～2回)

6. 健康管理

- ・月1回の体重測定
- ・口腔衛生・・・歯科医師による検診（5月）
職員によるカラーテスター利用確認
- ・毎日の検温の実施
- ・日々の健康観察
- ・内科嘱託医による月1回の相談日
- ・健診、治療対象者の定期的な血液検査
- ・感染症予防・・・インフルエンザ予防接種（11月）・自治会での注意伝達

・入院状況

平成 31,1,27～1,28 49 歳男性 脱水の為 西島病院入院
 平成 31,1,28～2,4 49 歳男性 肺炎の為 三島中央病院入院

- ・冬期の外出の規制の効果があつたようで、帰省後に1名インフルエンザに罹患した方がいたが、広まることなくすごすことが出来た。

7. 給食管理

(1) 行事食

- ①毎月1回 誕生日献立 喫茶
- ②4月 悠雲寮30周年祝献立
- 5月 子供の日祝献立
- 7月 セタバイキング・流しそうめん
- 12月 クリスマスバイキング もちつき
年越しそば
- 1月 おせち料理（1/1） 七草粥 鏡開き
- 2月 節分 豆まき・恵方巻き
- 3月 ひな祭り弁当

(2) 栄養面

①給与栄養目標量

区分	エネルギー Kcal	タンパク質 g	脂質 %	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミ ン				塩 g
						A ug	B1 mg	B6 mg	C mg	
目標値	1,650	63.0	20～25	700	11.0	700	1.10	1.10	100	7.5
実績	1616	69.7	24	579	8.4	930	1.11	1.46	161	8.5

日々の献立作成を上記の給与栄養目標量を参考に作成

(3) 特別食

- ①利用者の身体状況に応じ、超きざみ食、きざみ食、一口食、減塩食、油抜き食など特別食の提供。→年に一度の全体見直し。
体調に合わせてその都度対応。また、体調不良者への粥食の提供

(4) 衛生面

①利用者の衛生管理

- ・食事前の手洗い・消毒の強化。
泡の出る石鹼での手洗い、手洗い後のエアータオル、手洗い後の消毒の励行
- ・配膳時のエプロン・帽子・マスクの着用

②厨房内衛生管理

- ・週 1～2 回の床清掃
- ・調理台・炊飯器・配膳台など、係り分担を決めての清掃（チェック表使用）
- ・厨房職員全員の月 2 回の検便検査（冬は 1 回）
- ・調理従事者の調理前の体温・体調チェック
- ・年 2 回の業者による厨房内消毒と月 1 回の害虫除去点検
- ・年 2 回の業者によるグリストラップ清掃
- ・食器及び調理器具類の消毒・殺菌
- ・冷蔵庫・冷凍庫の温度確認
- ・食材納品時の賞味期限・納品温度の確認
- ・調理時の中心温度の確認

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
車両関係	421,198	点検・車検・バッテリー交換ほか
浴槽仮設工事	1,988,190	浴槽改修工事に伴う仮設。
居室等工事	856,440	男性棟・女性棟 トイレ・ドア鍵ほか
電気工事	357,294	自家発電・スプリンクラー・乾燥機ほか
その他の工事	4,104,000	外壁・グラウンド整備ほか
計	7,727,122	

(2) 物品購入

固定資産

① エアコン (居室)	4 台	2,114,640 円
② テント	2 台	380,000 円
③ 物置	2 棟	481,257 円
④ 殺菌乾燥機	1 台	237,600 円

⑤ エアコン屋外機	1 台	766,800 円
備品		
① オープン書庫	1 台	70,416 円
② シューズボックス	1 台	85,320 円
③ 自動水栓	3 台	70,632 円
④ デスク	1 台	49,680 円
⑤ ワゴン	3 台	110,160 円
⑥ デジタルカメラ	1 台	20,790 円
⑦ チェア	1 脚	47,520 円

○悠雲寮（短期入所事業・日中一時支援事業）

1. 利用について

- (1) 在宅の障害者を介護する保護者や家族の疾病等により短期間施設を利用することが適当と認められる方を受け入れ適切な支援を提供した。
- (2) 日中一時支援事業は、市町より利用可能の認定を受けている方が宿泊を伴わないで利用（長泉町、三島市、裾野市と契約）。

※2名の長期利用者の内1名は沼津市内のグループホームに移行。しかし新たに保護者の入院により1名が利用を開始し、3月末で2名が施設入所の空きを待ちながらの長期利用を継続中。

- (3) 短期入所事業（宿泊・日中一時）は出来る限り家庭の要望に沿った受け入れを実施。希望する保護者には利用後に利用中の様子を記載した“引渡し書”を渡した。

2. 利用状況

平成30年度短期入所受け入れ状況（宿泊）定員6名

1日平均3.8名利用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人員	14	12	10	11	12	12	12	10	10	5	4	3	115
延人数	151	136	120	118	125	137	128	111	123	101	74	57	1381
前年度延人数	133	130	168	153	103	127	131	152	135	125	126	153	1636

平成30年度日中一時支援受け入れ状況（日帰り）定員なし

1日平均1.2名利用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人員	5	4	6	6	5	6	5	6	6	4	3	4	60
延人数	40	38	41	44	38	41	37	50	32	50	30	25	466
前年度延人数	55	42	46	49	43	50	53	64	44	32	37	47	562

前年度に比べて、延べ人数が減少した理由

- ① 利用者の重度化により、1日に受入できる人数が減った。傾向としては入所待ちでの利用希望が多くなった。
- ② 風呂の改修及び悠雲寮内でのインフルエンザ予防の為、1月から3月末までは、基本長期利用者のみを受入とした。

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家（共同生活援助事業）

1. 目標に対する取り組み

(1) サービスの質の向上

- ① 就労先との連携を図り、就労の継続
就労先への定期連絡を通して、課題の抽出や対応を行い、就労の継続に努めた。
- ② 環境整備
エアコンの交換、階段の補修などを始め、住環境の見直しを行い安心・安全に生活できるようにした。

(2) 人材育成

世話人

所属		
悠雲の家	1名	基本 6:00～14:45
アネックス	1名	基本 11:15～20:00

悠雲寮（バックアップ施設）

悠雲の家	サービス管理責任者 1名
アネックス	バックアップ職員 1名

業務日誌・会議・日々の引継ぎなどを通じて、世話人とバックアップ職員との情報の共有を継続。

(3) 地域への福祉ニーズへの対応

- ・ゆううん（相談支援事業）と情報を共有し、個々の利用者にあった生活の場を検討した。
- ・地域の祭り、地域防災訓練への参加など地域のイベントには積極的に参加。

(4) 安定した経営をめざす

男性1名・・・夜間の徘徊・夜間外出が頻繁な為、24時間世話人対応のグループホームに12月転居。

男性1名・・・12月外出中に転倒、車椅子生活となったため、悠雲寮短期入所を利用後、特別養護老人ホーム入所。

2018年4月は9名でスタートしたが、2019年3月末7名の方が利用されている。

利用者数は減ったが、世話人2人が8時間勤務になり、常勤換算1に2名

カウントできるようになったため、サービスに対する報酬単価が変更でき、報酬には大きな差はない。

【世話人1 対 利用者6】報酬単価 171/1人/日
1月より定員8名

【世話人1 対 利用者4】報酬単価 242/1人/日 に変更。

2. 利用者の状況 (2019年3月末)

氏名	年齢	程度	勤務先	給料	年金月額	出身地	
女	A	70	中度	セキトランス	40,000	65,000	長泉町
	B	35	軽度	モガワ	100,000	65,000	三島市
	C	38	軽度	いずみの郷	40,000	65,000	熱海市
	D	72	軽度	H&M	15,000	65,000	長泉町
	E	34	軽度	さつき園	100,000	65,000	熱海市

氏名	年齢	程度	勤務先	給料	年金月額	出身地	
男	H	53	精神	東レ	70,000	65,000	裾野市
	I	49	軽度	リースサンキュー	70,000	65,000	清水町

平均年齢 50 歳

※H&M・・・ほほえみ&みのり工房

3. 年間行事等

(1) 旅行・・・一泊旅行 (11月：TDR・伊豆方面)

2班に分かれ利用者9名・職員延5名

(2) 食事会・・・バーベキュー (8月) 新年会 (1月) お疲れ様会 (2月)

4. 健康管理

- ・町の検診→対象年齢に達し、本人の希望により受診とした。
昨年1名に大腸がんが見つかり、がんセンターにて内視鏡による手術を受けたが、1年後の9月に通院し、経過は良好という事だった。
- ・日常の通院・個人的な外出等に関しては、基本的には各自で行なった。
必要に応じて、有料にて通院付添サービスを利用した方もいた。

5. 防災、防犯

- ・防災訓練→火災想定 (2月)、地震想定 (3月) 実施。
- ・長泉町総合防災訓練→南一色区訓練 (8月) に利用者3名参加。
- ・防犯カメラの設置・・・夜間においても利用者が安全・安心に過ごせるよう、玄関前の通路が録画されるようカメラを設置している。
また、ホームセキュリティーによる見守りも継続。

6. 地域移行への支援

- ・一人暮らしを希望している利用者に対して、相談支援事業所と連携を取りながら対応、助言した。
- ・余暇支援「ハッピーのわ」への積極的な参加の呼びかけを行った。
- ・利用者全員に対して小遣い管理、調理、整理整頓、掃除、洗濯等日常生活全般についての支援を継続。
- ・知的障害者の当事者団体（ピープルファースト）の全国大会が奈良であり、1名が参加し地域で暮らす障害者と交流を持った。

7. 内部・外部コミュニケーション

- ① グループホーム会議
- ② 個別支援計画・モニタリング（年4回）
- ③ 日々の引継ぎ・業務日誌、口頭、ケース記録等
- ④ 県実地指導（1/10）・集団指導（12/7）

8. その他の支援

- ・家族との連絡調整
家庭の事情により帰省や連絡のとりにくい家庭が多いが、出来る限り連絡をとりGHでの様子を伝えた。
- ・GH会議を年6回行い、利用者支援、世話人の業務について話し合った。
（出席者：管理者、サービス管理責任者、世話人、バックアップ職員）
- ・利用者の職場の担当者との情報共有するため、定期連絡を実施。

9. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
305号室浴室水栓交換工事	59,400	
302号室台所流し台ほか修繕	26,654	
302号室トイレ・306号室各所修繕	59,400	
水周り各所・各部屋修繕	41,040	
計	186,494	

(2) 物品購入

固定資産

302号室個室エアコン取付	2台	232,200円
302号室食堂エアコン取付	1台	156,600円

○ゆううん（相談支援事業所）

1、目標に対する取り組み

（1）サービスの質の向上

相談者毎の特性・ニーズを可能な限り把握し、個々の相談者に適した相談員を配置。安心して相談できる環境設定に努めた。また、毎月の相談会議、毎週の相談ミーティングにて動きのあるケース紹介を実施する事で、相談員全員のケース共有に努めた。

（2）人材育成

外部の研修会に参加した時には毎月の相談会議にて研修内容を報告し、相談員全体で共有。相談支援の充実に繋げた。

<研修参加実績>

- ・障害支援区分認定調査員研修
- ・発達障害支援者研修
- ・相談支援従事者ブラッシュアップ研修
- ・事業所見学（2件）
- ・駿東田方圏域重症心身障害児者部会公開ネットワーク
- ・相談支援従事者 現任研修（2名）

（3）地域の福祉ニーズへの対応

①福祉サービス受給者に指定されている期間を把握。記載通りにモニタリング・計画見直しを実施した。その際、対象者のその時の状況にあったサービスの提案等も実施。また、サービス提供事業者と連携を図り、必要に応じて、指定された期間以外でもケース検討・見直しを実施した。

②毎月町内の相談連絡会に参加し、困難事例の報告を実施。それぞれの相談

支援事業所で抱えている困難ケースの共有・意見交換を行い、長泉町障害者自立支援協議会に報告している。

（4）安定した経営を目指す

①ゆううん請負分の計画相談作成率は100%無事達成している。

長泉町全体の達成率は成人95.6%、児童は97.5%

※福祉サービスは利用しているが、計画相談を拒否する方がある。

2、実績

（1）相談件数 ※児童含む

	H29年度	H30年度
長泉町内 述べ件数	5854	4469
長泉町内 実人数	213	235

（上記の他、悠雲寮利用者について対応）

(2) 主な相談内容

	支援内容	H29 年度	H30 年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	5931	4296
②	障害や症状の理解に関する支援	3004	2078
③	健康・医療に関する支援	1339	769
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	1354	652
⑤	保育・教育に関する支援	308	427
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	1077	979
⑦	家計・経済に関する支援	445	360
⑧	生活技術に関する支援	1547	426
⑨	就労に関する支援	1220	511
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	481	141
⑪	権利擁護に関する支援	111	45
⑫	その他	535	255

※29年度5名体制から30年度4名体制に人員が減ったため、全体的な支援件数が減っている。

(3) 計画相談・地域移行、定着支援、区分調査実施件数

H29 年度 新規計画相談開始人数…75 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	24	14	20	39	19	12	11	13	17	7	20	13	209
継続相談	8	19	29	15	12	25	22	17	24	22	16	57	266
地域定着	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	2	5	6	6	2	4	2	4	8	3	4	0	46

H30 年度 新規計画相談開始人数…41 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回相談	25	14	12	12	11	15	15	9	11	24	18	10	176
継続相談	19	28	35	26	23	31	25	31	23	25	29	41	336
地域定着	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	3	0	2	4	3	1	4	2	4	3	3	2	31

※地域定着：継続2名

※地域移行：H30年度利用なし

3. 余暇支援事業（ハッピーのわ）

町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者を対象に余暇支援事業を実施。
事前に年間予定を提示し、5名以上集まったもののみ開催した。

H29年度 12回開催 142名 → H30年度 7回開催 91名
計画相談100%達成を優先にするため、開催回数を減らした。

(1) 利用対象者

町内在住・在勤・在学の18歳以上の障害者で、集合場所まで自力で来て、帰る事ができる方。（自力では移動が難しい方は保護者等の送迎を利用）

(2) 開催日・内容

※7回開催

内容	日付	時間	場所	参加人数
オリエンテーション +室内ゲーム	5月12日（土）	9:30～11:30	福社会館	16名
カラオケ	6月23日（土）	9:00～11:30	ラジオシティ 沼津北口店	11名
バーベQ	8月11日（土）	16:30～19:00	大迫施設長宅 庭	14名
調理実習 （サラダうどん）	9月9日（日）	9:20～11:40	ウェルピア長泉 調理室	15名
卓球大会	11月10日（土）	8:50～10:45	勤労者体育館	5名
鍋パーティー	1月27日（日）	12:00～16:00	ウェルピア長泉 調理室	15名
ボーリング大会	2月24日（日）	13:00～16:00	サントムーン柿田川	15名

4. 長泉町障がい者自立支援協議会事務局業務

毎月の運営会議の準備、7月・2月の自立支援協議会全体会の会議運営・全般的な庶務及び連絡調整を実施。円滑な協議会運営をサポートできた。

5. 施設整備の補修及び器具备品購入等

(1) 維持補修

なし

(2) 物品購入

備品

シュレッダー

1台

32,400円

○ほほえみ&みのり工房

1. 部門目標に対する取り組み

(1) サービスの質の向上

①通所

- ・毎月1回、家庭や保護者に定期連絡を実施し、連携を図った。
- ・休みがちな利用者に対し、電話で悩みなどの相談や家庭訪問を実施し通所できるように促した。
- ・必要に応じ、相談事業所ゆううんや各市町と連携をとり、問題解決に当たった。

②作業

- ・利用者1人ひとりの体調を考慮し、決まった作業だけでなく、新しい作業への挑戦を常に試みた。新規企業より仕事をいただいた。
- ・1日の作業目標を利用者に伝え、個々にあった声かけを実施し、作業工程を工夫し利用者の持っている力を引き出せるよう作業を提供することで作業意欲が高まり、働く姿勢を身につけた。

③生活

- ・家庭・病院・各市町・嘱託医と連携を図り、体調の変化に気づききめ細かい支援を行った。
- ・常に精神科の嘱託医に相談し、緊急時に対応することができた。

④マネジメントカメラの活用

- ・常にマネジメントカメラを利用し、利用者の安全を確保した。
- ・利用者の転倒や、トラブル時には再生し、原因を知り保護者へ情報を提供することができた。

⑤売り上げについて

【作業別売り上げ金額】

作業名	29年度			30年度			
	売り上げ金額	材料費	収益	売り上げ金額	材料費	収益	
施設内 訓練	パン	6,846,330	3,074,107	3,772,223	6,776,265	3,007,334	3,768,931
	焼菓子	7,795,286	2,636,431	5,158,855	7,450,390	2,344,737	5,105,653
	農業(園芸)	1,696,120	359,656	1,336,464	1,067,850	209,051	858,799
	下請け	2,340,987	0	2,340,987	2,459,100	0	2,459,100
	縫製	272,650	161,340	111,310	254,200	110,408	143,792
	ランチ	3,793,850	2,835,428	958,422	177,485	77,585	99,900
	その他	194,834	77,741	117,093	237,072	101,113	135,959
	合計	22,940,057	9,144,703	13,795,354	18,422,362	5,850,228	12,572,134
施設外 訓練	自転車解体	203,952	0	203,952	195,072	0	195,072
	木屑処理	1,789,650	0	1,789,650	1,311,750	0	1,311,750
	清掃作業	1,947,689	281,432	1,666,257	2,154,010	344,591	1,809,419
	セキトランス	1,261,995	0	1,261,995	1,122,325	0	1,122,325
	合計	5,203,286	281,432	4,921,854	4,783,157	344,591	4,438,566
総合計	28,143,343	9,426,135	18,717,208	23,205,519	6,194,819	17,010,700	

⑥工賃について

【1ヶ月の平均工賃】

	就労移行支援	就労継続B型
平成25年度	26,987円	28,245円
平成26年度	26,164円	27,301円
平成27年度	28,478円	29,900円
平成28年度	28,967円	26,881円
平成29年度	24,683円	25,695円
平成30年度	24,691円	24,437円

【最高工賃・最低工賃】

(2) の育 ① 内研 実施	就労移行支援		就労継続B型		人材 成 施 設 の 修 の
	最高額(円)	最低額(円)	最高額(円)	最低額(円)	
平成25年度	47,070	280	52,220	800	
平成26年度	31,125	700	54,680	700	
平成27年度	36,955	800	46,080	400	
平成28年度	42,000	630	48,330	300	
平成29年度	41,130	450	52,668	420	
平成30年度	22,670	450	47,050	450	

月	研修名	講師
4	31年度について(事業計画・手順書確認)	施設長
5	不適切なケアについて	支援員
6	防災について(火災・地震想定) 虐待について	支援課長 支援課長
7	感染症について 社会のマナーについて(利用者送迎) 防災用品の確認	施設長 支援員 支援員主事
8	心肺蘇生法・AED 感染症について 職場のマナーについて(車両の安全) 障害の特性について(愛着障害)	支援員主事 施設長 施設長 浅倉Dr
9	障害の特性について(精神障害)	施設長
10	健康な心で暮らすために	浅倉Dr
11	社内の手順について	施設長
12	障害の特性 (コミュニケーション技術による興奮状態への介入)	浅倉Dr

②外部への研修へ積極的な参加

・24の研修に延べ26名の職員が参加しました。

(3) 地域福祉ニーズへの対応

①地域の福祉ニーズへの取り組み

- ・長泉町北中学校より作業学習の受け入れ（6/22 3名 1/10 3名）
- ・長泉町北中学校より職場体験学習の受け入れ（11/8～9 延べ6名）
- ・沼津特別支援学校、御殿場特別支援学校の職員が施設見学（8/3 8/24）
- ・長泉町障害者自立支援協議会就労部会に参加し、地域の福祉ニーズを引き出す活動を実施した。（4/10 6/12 8/7 10/9 12/11 2/12）

②地域のお祭りや行事に積極的に出店

月	行事名	回
4	民生販売 モクオハナ 仲良し会 シニアクラブ さくらフェスタ サクラサクまつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	14
5	民生販売 モクオハナ 仲良し会 シニアクラブ 国際ソロプチミスト ヤンセンファーマ 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	14
6	民生販売 モクオハナ シニアクラブ 仲良し会 さつき園まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13
7	民生販売 モクオハナ ウォーキング 南一色まつり 納米里まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13
8	民生販売 モクオハナ 上長窪まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	11
9	民生販売 モクオハナ シニアクラブ ながいずみホーム祭 いずみの街コンサート 城山まつり 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	14
10	民生販売 モクオハナ 仲良し会 ウォーキング 福祉健康まつり 子育てフェスティバル シニアクラブ 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	15
11	民生販売 モクオハナ 下長窪文化祭 池田区文化祭 北こども園 ウォーキング シニアクラブ 仲良し会 産業祭 高専祭 米山梅吉祭 裾野社協(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	19
12	民生販売 モクオハナ このはな発表会 ウォーキング販売 障がい者週間販売 障がい者週間映画鑑賞会 あそか保育園販売 仲良し会 裾野社協(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	14
1	民生販売 モクオハナ ウォーキング販売 シニアクラブ シルバー文化祭 仲良し会 裾野社協(3回) マ・メゾン花水木販売(3回)	12
2	モクオハナ 東レ販売 ウォーキング 民生販売 仲良し会販売 裾野社協販売(4回)	9
3	なごみフェス モクオハナ ウォーキング 民生販売 仲良し会 裾野社協販売(4回) マ・メゾン花水木販売(4回)	13

②ボランティア関係

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
地域の方々	95	95	作業の手伝い
ママズ	26	38	作業の手伝い 行事の手伝い
楽しい仲間ファイブサークル	1	6	ゲーム指導

(4) 安定した経営

①利用者の通所率アップを図る

- ・日々のコミュニケーション、家庭との連携を大切に、普段との違いに早めに気付けるよう意識した。
- ・利用者の様子によっては家庭に訪問、または電話を入れて様子を聞くといった対応をとった。
- ・手洗いや手指消毒等の予防対策を実行し、利用者本人・各家庭に協力を呼びかけ職員も率先して実行。同時に施設環境を整えるため、換気や消毒などを頻繁に行った。
- ・インフルエンザ・ノロウイルス等については、世間や地域の流行状況に目を向け、どのような情報も施設全体で把握できるよう朝礼や終礼、会議等で情報を伝えた。
- ・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染者数は以下の通り。

インフルエンザ感染者 <利用者> 本人→16名・同居者→4件

<職員> 本人→1名・同居者→2件

ノロウイルス感染者→なし

・30年度内訳

	定員	登録者	出身地			通所 人数/日	延べ 利用者数
			長泉町	裾野市	その他		
就労移行支援	6名	12名	11	0	御殿場市1	5.59名/日	1,529
就労継続支援B	34名	53名	44	7	清水町2	34.9名/日	9,546

・前年度比較

	就労移行支援			就労継続支援事業B型		
	定員	登録者	延べ利用者数	定員	登録者	延べ利用者数
27年度	10名	13名	1,853	30名	49名	9,454
28年度	10名	13名	1,458	30名	55名	9,067
29年度	10名	10名	1,638	30名	49名	9,374
30年度	6名	12名	1,529	34名	53名	9,546

・通所の状況

	登録者	送迎車	家族の送迎	徒歩・自転車	車・バイク
平成24年度	83名	62名	1名	16名	4名
平成25年度	65名	53名	1名	9名	2名
平成26年度	68名	58名	1名	9名	0名
平成27年度	62名	50名	1名	10名	1名
平成28年度	68名	56名	1名	11名	0名
平成29年度	59名	48名	1名	10名	0名
平成30年度	65名	57名	1名	7名	0名

②職員の業務の見直しを図り効率のよい仕事を心掛ける。

- ・販売方法を工夫し、人が多く集まるイベントに出店するようにした。また、利用者が参加できるイベントに限定し、できる限り多くのイベントに参加した。
- ・職員が次週の計画を立て仕事を行う事で、忙しい作業には職員を多く配置し協力して効率よく仕事を実施する事が出来た。また1日の作業の中で12時に仕事の見通しを報告し職員配置をすることで残業をなくした。

(5) 就労支援

① 個別支援計画に基づき、個々にあった就労支援を目指す。

- ・就労支援会議を毎月2回実施。
- ・個別面談を3ヶ月に1回実施。
- ・随時、ハローワークにて情報を得たほか、駿東田方圏域関係機関の会合や研修に参加し情報を得た。

② 施設外での作業を積極的に取り入れる

- ・個別面談や会議、また、得た情報をもとに、できるだけ多くの工程を用意し提供。得意・不得意を見極めて、不得意な事も挑戦していけるよう支援した。

③ 企業実習受け入れ先の開拓

- ・事業所実習：株式会社マリー(7/23～7/31)
東和テック(1/24・1/28・1/30・1/31)
株式会社ウェルビーイング 小規模多機能ホームふれあい伏見
(3/4～3/8・3/11～3/15)
- ・障害者事業主委託訓練
リコーエスポアール株式会社(4/18～6/29)
社会福祉法人聖家族の園 ながいずみホーム(11/8～2/1)
- ・知識技能習得訓練デュアルシステム
パソコン実務科(6/27～10/26)
商品物流科(11/1～2/28)
- ・トライアル雇用
株式会社ウェルビーイング 小規模多機能ホームふれあい伏見
(H31、4/1～6/30)

④ ハローワーク等と連携を取り企業の求人情報を得る

- ・駿豆地区障がい者自立支援協議会に参加し、企業、学校、ハローワーク、関係機関、他施設などと情報を交換した。
- ・障がい者就職面接会参加(9/20・2/13)
- ・事業所見学実施
社会福祉法人聖家族の園 ながいずみホーム 10/29
東和テック 12/7
株式会社リコーエスポアール 12/25

	人数	就労先
平成 19 年度	3 名	フジ産業(株)・イルカ・(株)東武
平成 20 年度	7 名	東レ(株)三島 (3 名)・日本ケアクオリティ 裾野市鈴木図書館(2 名)・飲食店
平成 21 年度	1 名	(株)ゴトー
平成 22 年度	5 名	エコステーション (3 名) ・(株)三容工販 (株)ニシカワ
平成 23 年度	5 名	矢崎ビジネスサポート(株)・太平洋クラブ アイサンキュー (3 名)
平成 24 年度	12 名	アイサンキュー・田沢医院 (2 名) (株)バンビの杜 (3 名) ・(株)マリー (2 名) (株)ワークフェア (2 名) ・REWORK 合同会社 ヤマト運輸(株)
平成 25 年度	3 名	(株)マリー・ハートワーム(株) (株)アイエスエフ
平成 26 年度	3 名	東レ(株)三島・ユースエイド・(株)マリー
平成 27 年度	4 名	富士通ハーモニー(株)・ハローワーク三島 (有)清栄・イオンフードサプライ(株)
平成 28 年度	6 名	ロンズ・(社)ユースエイド・リコーエスポアール (株)・福山通運(株)・(有)井出園芸 (株) エクレ
平成 29 年度	4 名	石渡食品有限会社・株式会社モガワ イオンフードサプライ(株) 社会福祉法人聖家族の園
平成 30 年度	3 名	(株)マリー・リコーエスポアール(株) 聖家族の園
合計	56 名	

(6) 就労者へのアフターケア

①就労者への職場定着支援

1～2ヵ月に1回企業を訪問したり、電話で様子を伺ったり、就職した方や企業側の問題点を解決し、離職しないよう長く働けるように支援を行った。

企業名	人数	職種	就労年月日	就労定着支援事業
フジ産業(株) がんセンター内	1 名	厨房補助	平成 19 年 4 月	
東レ (株) 三島工場	3 名	清掃作業	平成 20 年 7 月 平成 26 年 4 月	
(株) 日本ケアクオリティ (長泉町老人介護施設)	1 名	施設内清掃	平成 20 年 12 月	
裾野市鈴木図書館	1 名	本の配架	平成 20 年 4 月	
エコステーション	3 名	リサイクル	平成 22 年 4 月	
矢崎ビジネスサポート	1 名	施設内清掃	平成 23 年 11 月	
アイサンキュー	2 名	おしぼり洗浄	平成 24 年 1 月	

			他事業所へ1名	
田沢医院	1名	病院内清掃	平成24年7月	
REWORK 合同会社沼津	1名	PC入力業務	平成24年11月	
(株) マリー	1名	食品加工	平成30年8月	
(株) アイエスエフネットライフ	1名	PC入力業務	平成25年12月	
富士通ハーモニー (株)	1名	PDF処理	平成27年4月	
(有) 清栄	1名	ホテル清掃	平成28年2月	
イオンフードサプライ (株)	1名	食品製造加工	平成29年8月	
ユースエイド	1名	軽作業	平成28年10月	
リコーエスポアール (株)	2名	商品梱包	平成28年11月 平成30年7月	○
福山通運 (株)	1名	荷物積み込み	平成28年11月	○
(株) エクレ	1名	建物内清掃	平成29年3月	○
フルーツパーク	1名	食品加工	平成29年5月	
株式会社モガワ	1名	リネンクリーニング	平成29年8月	○
社会福祉法人聖家族の園	2名	介助補助 調理補助	平成29年12月 平成31年2月	

②就労定着支援事業の実績

(H30.12.1~H31.3.31)

月	利用者数	延べ支援回数	備考
12月	2名	3回	
1月	3名	4回	
2月	3名	4回	
3月	4名	4回	

2. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

① マネージメントカメラHDD・冷却ファン交換	202,716円
② 厨房 コンセント増設工事	22,680円
③ 発電機 キャブレターOH	8,100円
④ 排煙窓オペレーター修理	38,880円
⑤ 真空包装機 パッキン交換	13,500円
⑥ 配水配管修繕工事	27,000円
⑦ 1.2階女子トイレ修繕工事	35,640円

(2) 物品購入

① コンパクトカメラ	13,098円
② 工業用扇風機	6,980円
③ オーニングタープ	9,800円
④ すいがら収集缶・かご	3,584円

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 新たな保育所保育指針にてらし、現状の保育と求められる保育の違いを考察し、外部研修に積極的に参加した。また、そこで学んだ内容を内部研修に取り入れ、保育課程や年間計画、月案、週案などの見直しを行った。
- ② 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、子どもの興味や発達に沿った計画になっているかを検討し、必要に応じ変更を行った。また、園内・園庭の環境の整備にも継続して取り組んだ。支援を必要とする園児には、これまで同様、個別に支援計画を作成し、個々に援助を行った。月に1度の職員会議では、保育内容についてだけでなく、リスクマネジメントやインフラストラクチャーについても確認した。
- ③ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。また、父母の会総会や記念行事での保護者向けの話を録画し、全職員が情報を共有できる体制を整えた。
- ④ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信を継続した。作成時間は徐々に短くなり、内容もより細かな子どもの動きをとらえたものが増えた。
- ⑤ ICTシステムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを行った。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を継続的に見直し、職員会議にて伝達した。また、評価シートに挙げられている項目に沿って、静香会の職員として大切な事を随時確認した。
- ② 外部研修へ積極的に参加した。参加して得た知識や情報は、毎月の職員会議で報告した。近隣だけでなく、全国大会への参加や運営側として参加する機会も頂いた。得た情報は、園内研修の題材とした。
- ③ 他園を見学させていただき、自分たちに必要と思ったもの、かけているものを取り入れるよう取り組んだ。

(3) 地域との連携

①法人行事への参加(主に年長)や法人内他施設との交流、近隣の畑を管理する方々などと接する機会をもち、地域に開かれた園作りとともに、子どもたちの社会性を伸ばすよう心掛けた。桃沢幼稚園との交流は3回行った。

②長泉町役場の健康増進課の方や、地域のボランティアの方々を園にお招きし、子ども達に普段とは違った活動を提供していただいた。また、看護学生や中学生の職場体験を受け入れた。

(4) 安定した経営

① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。

② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数102名、年度末の園児数は109名と7人増加した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	2日	進級式(在園児のみ)
	7日	入園式
	21日	第1回父母の会総会・参観会
5月	17日	内科検診(山本整形外科・循環器科 山本先生)
	17日	歯科検診(服部歯科医院服部先生)
	23日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	25日	親子遠足(3歳以上児)
	29日	さつまいものつるさし
	31日	ジャガイモ掘り
6月	1日	衣替え
	5日	歯みがき指導(年中・年長)
	11日	花火指導(3歳以上児)
	19日	第1回オープン参観

7月	6日	七夕のつどい
	12日	交通教室(交通安全協会裾野支部 3歳以上児対象)
	21日	第1回オヤジの会活動
	28日	このはな夏祭り
8月	4日	長泉わくわくまつり参加(年長・年中)
	13.14日	休園日
	15～17日	希望保育
9月	4日	保育園説明会
	18日	保育園説明会
	13日	防災引渡し訓練 (幼海地震想定、一斉メールにて保護者へ連絡)
10月	1日	このはな運動会
	11日	さつまいも掘り
	20日	30周年記念式典(原坂一郎先生)
	24日	新入園希望児面接
11月	8日	起震車体験
	15日	内科検診(山本整形外科・循環器科山本先生)
	22日	祖父母参観会
12月	1日	このはな発表会
	14日	クリスマス会
	21日	もちつき大会
	29日～31日	休園日
1月	1日～4日	休園日
	7日	新年のつどい
2月	1日	節分のつどい
	7日	第2回オープン参観
	15日	KitS体験会
	28日	修了写真撮影
3月	2日	入園説明会
	7日	お別れ遠足(年長)
	16日	第2回父母の会総会
	22日	修了式
	23日	卒園式(21名卒園)
	31日	休園日(次年度準備)

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	4	15	20	20	22	21	102
5月	7	15	19	20	21	21	103
6月	9	15	19	20	21	21	105
7月	10	16	19	20	21	21	107
8月	11	16	19	20	21	21	108
9月	11	16	19	20	21	21	108
10月	11	16	19	20	21	21	108
11月	11	16	19	20	21	21	108
12月	11	16	19	20	21	21	108
1月	11	16	19	20	21	21	108
2月	11	16	19	20	21	21	108
3月	12	16	19	20	21	21	109

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時)
- ③ 連絡帳でのやりとり
→0.1.2歳児：園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児：必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ かんたんメールシステムを利用し、お知らせ、重要事項の確認などを行った。
- ⑤ ブログの更新、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を掲示。
- ⑥ このはな保育園オヤジの会を結成。畑の整備などに協力いただいた。

6. 延長保育利用実績

- ① 18時以降の利用は延長保育とした。

②利用料金 18時～18時29分 → 200円

18時30分～19時 → 500円

③利用人数は延べ1,167人。延長料金は年間284,100円であった。

7. 一時預かり事業

(1)4月より、一時預かり事業を開始した。

(2)利用料金

		給食有	給食無
未満児	(0～2歳)	2,100円	1,800円
以上児	(3～5歳)	1,500円	1,000円

(3)利用人数は延べ480人。利用料金は972,800円であった。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
遊具・教材関係	508,540	コンビネーション遊具洗浄、錆止め、塗装 エアアーチ修理・園児用SDチェア修理 デジタルピアノ修理
各部屋等工事	113,076	0.1歳保育室床暖房の給湯器部品交換 玄関引戸戸車取替工事 1Fトイレ換気扇取替工事
車輛関係	21,020	点検
その他	360,480	LED照明工事・洗濯機清掃、点検 浄化槽ブロワー修理
計	1,003,116	

(2) 物品購入

固定資産

① ヤンマーミニ耕うん機

1台

172,807円

備品

① イベントテーブル	4台	116,000円
② 座卓	3台	90,072円
③ 棚	3台	78,500円
④ 2連ロッカー可動棚付	1台	61,560円
⑤ 紙パック式クリーナー	2台	53,352円
⑥ 炊飯器	3台	51,678円
⑦ 消火器	7本	45,360円
⑧ デジタルカメラ	2台	42,768円
⑨ 全自動洗濯機	1台	42,336円
⑩ おむつ交換台	1台	38,000円
⑪ エンジン草刈機	1台	19,800円

社会福祉法人静香会平成 30 年度事業報告附属明細書

該当事項ありません